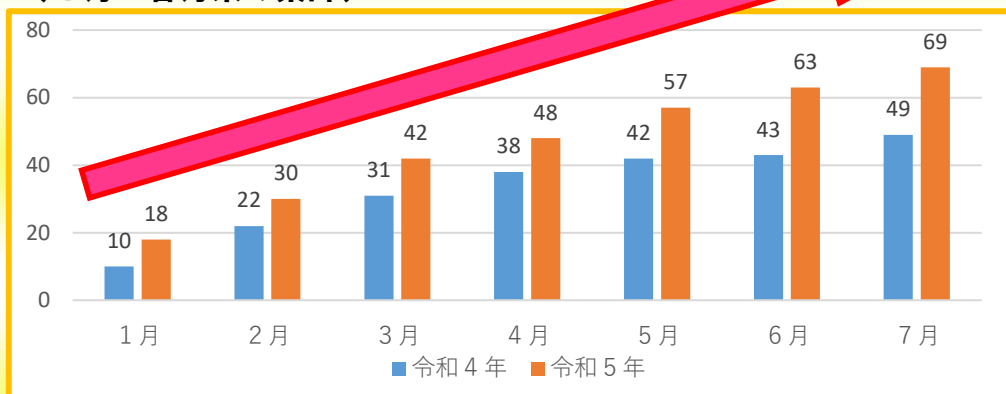


夏でも火災予防

火災が多発しています。

令和4年・5年火災発生件数比較
(1月～各月末の累計)



夏にひそむ火災のリスク

・電気火災

夏は多数の電化製品を使用し、多くの電力を消費することから、電気火災が多く発生します。

コンセントプラグにホコリが溜まり、湿度が高くなり湿気が加わると、トラッキング現象が発生し、火災の原因となります。また、延長コードやテーブルタップに許容範囲以上の電流が流れると、発熱し火災に発展することがあります。コンセント周りの清掃や点検を定期的に実施しましょう。

・お線香

お盆の時期には、お線香やろうそくを使うことが増え、蚊取線香を使用することも多くなります。

使用の際は、「周囲に燃えやすい物を置かない」「その場を離れる時は火を消す」など、火の取扱いには十分注意しましょう。

・リチウムイオン電池

モバイルバッテリーや充電式の電化製品にはリチウムイオン電池が使用されています。外部から強い衝撃が加わったり、高温の車内等に放置すると、発火する危険性が高くなります。リチウムイオン電池の取扱いには十分注意しましょう。

